



ほむる

建設的な生き方へのお手伝い (Just do it !)
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】 ディズニーの教え方
福島文二郎 著 中経出版
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/prime21/>

発行日 2011年9月1日 **Vol.107**
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡邊敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

教えてくれない大切なこと

現在、中学校卒業後、高等学校へ進学する人の割合は97パーセントを超えており、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等の多様化に対応した特色ある学校づくりが求められています。文部科学省は、高等学校教育改革を総合的に推進するため、制度改正や施策の実施を行っています。

また、高等学校卒業後、大学へ進学する人の割合は50パーセントを超えており、2人に1人が大学に進学する時代が到来しています。

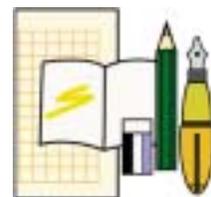
私たちは、保育園や幼稚園から大学までの間でたくさんのことを学び、そして経験します。社会に出て仕事を始めてみて、学生時代のことが必ずしも役に立つわけではありません。しかし、自分自身の質を上げていくには勉強はとても大切なことだと思います。

先日こんな話を聞きました。人生には、学校では教えてくれない3つの大切なことがあるというのです。

まず1つ目は、「人との関わり」、2つ目は、「時間管理」、そして3つ目は、「お金の管理」だそうです。この3つは長い学生生活の中では具体的に教えてくれないものだというのです。

今、経団連の調査によると、7年連続で企業が求める人材の要素第1位に「コミュニケーション能力」が挙げられています。「人との関わり」がとても重要視されています。また、ハーバード・ビジネススクールの調査によれば、コミュニケーション能力の差で、年収が2倍変わるというデータまであります。また、私たちの人生は“無限”ではありません。限られた時間を有効に生きていくことが求められます。私は今年で48歳になったのですが、平均寿命から考えると人生の半分がすでに過ぎています。社会人になり家庭をもつと、マイホーム、子供の教育費、老後の生活費などお金にかかわることが、否が応でも身に降りかかってきます。お金の貸し借りや資産運用などなど……。

社会に出てから安心して生活していくために必要な『3つの大切なこと』は、どんな人にも、どんなことにもあてはまると思うのです。生きていく際にいろんな形で私たちの人生に関わってきます。もっと小さいころから学校で教えていく必要があるのではないかと感じています。



共感

私たちは毎日の生活の中でいろんな場面に出くわします。例えば、友人や恋人が、あなたと些細なことで口喧嘩になり、メソメソ泣き始めてしまったとします。ここは人混みの街中です……。早く泣き止んでもらいたい。こんなときにあなたならどうしますか？

、「泣かないで」と謝る。

、「楽しい話」に切り替える。

、「相手以上に「大声で泣く」。

心理学的に一番効果があるのは、実は 一番です。人混みの中で少し勇気がいるかもしれませんが、相手の感情を越えるくらいに激しく泣けば、ほぼ間違いなく泣き止んでくれます。「私はあなたと同じ感情になっているんですよ」ということを表現することが大切です。「共感すること」です。

友人や恋人が泣き始めても、「泣かないで」とお願いしたり、話題を変えても効果はなく、むしろ、相手の気持ちを逆なですることになってしまいます。人は自分の気持ちを他人にわかってもらえると、お返しに、相手のこともきちんと知りたくなる習性があります。そして、相手の悲しみや苦しみも、一緒に背負いたくなる面もあります。

普段から世話好きな人は、いざというときに他人から助けてもらえる確率が高く、反対に、普段から励ましや共感といった人間関係から遠のいている人は、いざというときに孤独になってしまうかもしれませんね。注意したいものです。

【座右の銘にしたい名言】



**時間は希少な資源である。時間が管理できなければ、
他の何事も管理できない。**

ドラッカー (オーストリアの経営学者)